

I. 大会実行委員会からのお知らせ

1. 日本科学哲学学会第33回(2000年度)大会〔場所:名古屋大学〕のプログラムについて

今年度大会のプログラムは、以下を予定しています。

12月2日(土)

研究発表(10:00-12:00)

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:15)

総会(13:15-13:45)

特別講演(13:45-14:45)

講演者:松沢哲郎(京都大学霊長類研究所)

講演題目:「チンパンジーの知性と教育」

司会者:坂本百大(青山学院大学)

シンポジウム(15:00-17:30)

テーマ:「進化生物学の哲学的含意」(仮題)

提題者:伊勢田哲治(名古屋大学)、内井惣七(京都大学)

長谷川真理子(早稲田大学)

司会者:西脇与作(慶應義塾大学)

懇親会(18:00-20:00)[会費:¥4,000]

12月3日(日)

ワークショップ(10:00-12:15)

・「外在主義と自己知」

オーガナイザ:大沢秀介(愛知教育大学)

提題者:岡庭宏之(金沢大学)、篠原成彦(信州大学)、前田高弘(大阪大学)

「分析哲学における歴史的研究 - 論理学・数学の哲学と分析哲学の起源 - 」

オーガナイザ:金子洋之(専修大学)

提題者:岡本賢吾(東京都立大学)、小川芳範(University of British Columbia)、中川大(北海道教育大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:15-13:20)

研究発表(13:30-14:30)

ワークショップ(14:45-17:00)

・「工学の倫理」

オーガナイザ:横山輝雄(南山大学)

提題者:小林傳司(南山大学)、齊藤了文(関西大学)

黒田光太郎(名古屋大学)、大野波矢登(名古屋大学)

・「言語行為論はどこへいく」

オーガナイザ：伊藤邦武（京都大学）

提題者：土屋俊（千葉大学） 中山康雄（大阪大学）

山田友幸（北海道大学） 三好潤一郎（東京大学）

2. 研究発表者の募集について

今年度大会での研究発表の希望者を募ります。希望される方は、発表要旨〔B5版用紙1枚にワープロで800字程度、上部に題目、氏名、所属を明記のこと 御提出いただいた原稿をそのまま予稿集の版下とします〕添付の上、9月1日（必着）までに事務局宛お申し込み下さい。採否並びに発表日の通知は、9月20日頃に郵送で行います。

3. プログラムの発送について

プログラム、出張依頼状、宿泊施設案内、会場周辺地図（附：交通案内）、ワークショップ資料請求先一覧は、例年通り大会のおよそ1カ月前、10月30日頃に発送の予定です。

II. 編集委員会からのお知らせ

1. 『科学哲学』誌新設欄について

既に二回編集委員会で討議してまいりましたが、2000年6月24日の編集委員会で、つぎのような趣旨で新設欄を設けることとなりました。会員の方々には奮ってご応募下さるようお願い致します。

1. 「研究ノート」・・・オリジナルな着想について、なお細部の詰めは残っているとしても討論に付して、会員からのコメントを求めたい場合。（400字詰め原稿用紙10枚相当以内）
2. 「サーヴェイ論文」・・・特定分野での現在の研究状況・研究課題を紹介し、会員への情報提供に資することを狙いとするもの。（但し、編集委員会の判断で、著者の了解が得られれば、「自由応募論文」から採用することもありうる。）（400字詰め原稿用紙35枚相当以内）

いずれについても、編集委員会からの依頼による場合以外は、通常の「自由応募論文」の審査手続きに従い、編集委員会において審査する。

2. 自由応募論文について

学会誌『科学哲学』34巻1号（2001年5月発行予定）に掲載されるための論文審査を希望される方は、応募要領に則って執筆された論文を、2000年10月31日（必着）までに事務局宛お送り下さい。

「論文応募要領」³で言及されていることですが、論文を投稿されるときには、（レフェリーに転送されることになる）論文本体には論文タイトル（日本語と英語）と英文要旨のみを付け、著者氏名と所属は論文本体には記さずに、それら（氏名・所属）を記した表紙を別に添付して下さいますようお願い申し上げます。

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部哲学研究室内

日本科学哲学会事務局

tel. 03-3329-1151（内線4100）